平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） １１３ ※記入不要	提案機関名	秦野市農業協同組合

要望問題　加工用八重桜の品種検討並びに栽培技術改良

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

秦野市のユニークな特産品である加工用（主に塩漬け）八重桜について、さらに振興普及を図るため、下記の項目について研究を願いたい。

１．品種の検討
既存品種よりも収量が多く、かつ加工適性に優れた新品種の検索。

２．栽培技術の改良
１）省力管理並びに採花（つみ取り）が可能となる低樹高のための剪定及び管理技術
（花や葉を２～３メートル（脚立の高さ）の高さの低樹高とする）
２）低樹高栽培における裁植方式、施肥管理技術

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合）

対応の内容等

秦野市における加工用八重桜の重要性は承知しているところですが、現在のところ研究としてのデータの集積はなく、試験圃場も準備されておりません。品種の検討につきましては、担当普及センターとともに現状を十分に把握し、既存の品種の中で相応しいものがあれば、情報提供してまいります。
一方、低樹高化ですが、「サクラ」を扱った研究は行っておりませんが、同じバラ科植物の「ウメ」の低樹高化技術は農業総合研究所の研究成果となっております。サクラはウメに比べて、大きな切り口を作ることが、枯死、腐り込みの原因となる場合が多く、慎重に行う必要があると思われますが、現地で樹高の切り下げ、苗木からの低樹高化に取り組む場合には、現場において協力させていただきます。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	